

当面の放課後児童クラブ（学童保育）の進め方（案）

◆基本方針 ～魚津市子ども・子育て支援事業計画（H27.3月策定）～

小学校統合後は、地域拠点施設（旧小学校）等を利用し、元の小学校単位で実施する。利用に対する供給体制に不足が生じている小学校区（旧吉島・本江・道下・経田）においては、小学校又はその周辺で増設を検討する。放課後児童クラブのない小学校区（村木・旧西布施）においては、新設する。計画では、平成30年度当初までに対応することとしている。

◆現状と課題

統合（予定）校及び（統合年度）	校区	学童実施場所 H29.7月利用登録者数	定員及び現状等
清流（H28）	旧片貝	片貝公民館 16人（通年2人・長期11人・一時3人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員33人 ・H29.5月～通年利用者2人（H29.4月初は4人） ・一時的（概ね週1回程度）及び長期休業期間（夏・冬・春休み）の利用希望はあり
	旧吉島	ひばり児童センター 95人（通年65人・長期17人・一時13人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員43人 ・定員を大幅に超えている ・4年生以上を受け入れてきていない ・加積公民館は稼働率が高く利用不可（H27.6月） ・天神公民館（清流小から2.2km）開設検討、通学バス対応不可、断念（H28.1月）
	旧西布施	西布施公民館 12人（通年7人・長期3人・一時2人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員33人 ・H28.4月新設、H29.4月西布施地域活性化センター（旧西布施小跡地に建設）へ移転（児童室55㎡）
よつば（H30）	大町	こばと児童センター 16人（通年10人・長期4人・一時2人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員14人 ・H29年度末閉館予定
	村木	未開設	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度年度途中（又はH31年度当初）新設予定 ・現在、希望者は、こばと（1人）、つばめ（8人）児童センターを利用
	上野方	上野方公民館 38人（通年20人・長期12人・一時6人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員70人
	本江	つばめ児童センター 105人（通年87人・長期13人一時5人）	<ul style="list-style-type: none"> ・定員54人 ・定員を大幅に超えている ・4年生以上を受け入れてきていない

住吉・上中島・松倉 (H31)	住吉	下中島公民館 34人 (通年22人・長期7人・一時5人)	・定員27人 ・統合校内に専用室 (72人受入れ可能) を創設予定、将来的に3校分の受入れ可能
	上中島	上中島公民館 20人 (通年7人・長期9人・一時4人)	・定員43人
	松倉	松倉公民館 25人 (通年14人・長期6人・一時5人)	・定員26人
道下・経田 (H35以降)	道下	すずめ児童センター 79人 (通年65人・長期9人・一時5人)	・定員49人 ・定員を超えている ・4年生以上を受け入れできていない
	経田	かもめ児童センター 53人 (通年33人・長期17人・一時3人)	・定員32人 ・定員を超えている ・4年生以上を受け入れできていない

《課題》

- ・変則的な勤務体制に対応できる有資格者の確保が困難となっている。
(特に、片貝放課後児童クラブにおいては、通年利用の希望者が2人であること、また下校時間によっては利用のない日もあり、支援員が離職を希望している。)
- ・扶養の関係等で、長時間従事できない支援員が多くなっている。
- ・公民館で実施しているクラブでは、恒常的に従事できる支援員が少ないため、多くの支援員 (H29. 7月現在 43人) を雇用せざるを得ず、事務が非常に煩雑である。
- ・支援員最低2人配置が求められるため、少人数クラブでは運営経費が割高である。
(H29 予算ベース：公民館1クラブ当たりの運営経費 2,500千円～3,000千円、内人件費 2,300千円～2,900千円)
- ・個別配慮を要する児童が増加している。
- ・こぼと以外の児童センター (かもめ・つばめ・ひばり・すずめ) では、定員を大幅に超過しており、本来6年生までの受入れが求められるが、4年生以上の受入れができていない。

◆具体的な対応～現状と課題を踏まえて～

(1) 清流 (旧片貝・旧吉島・旧西布施) 小学校区

学童の実施場所 (部屋) の追加・変更⇒児童センターの別の広い部屋を、学童用として使用

◎現在実施場所 (児童クラブ室：48㎡、29人 集会室：24㎡、14人 定員計43人)

⇒EX. 図書室：36㎡、21人 創作活動室：46㎡、27人

※小学校に余裕教室が発生した場合にその活用や将来建替えが必要となった際には、住吉・上中島・松倉統合校のように、校内に学童専用室を設けることも検討すべき。

※支援員の確保が難しくなっている片貝放課後児童クラブの平成30年度開設について、協議が必要 (開設しない場合の受け皿の確保、保護者への説明)

⇒今後、利用者と意見交換等が必要

(2) よつば (大町・村木・上野方・本江) 小学校

①村木小学校2階で教育センターの管理下、2教室 60 m²×2部屋・72人、多目的ホール 130 m²・78人受入れ可能、よつば小から 1.0 km) を活用し、大町・村木・本江小2年生以上の受け入れ(兄弟姉妹がいる場合や特段の事情がある場合を除く。)、1年生は、つばめ児童センター(よつば小から 0.7 km) の利用を想定。運営は、つばめ児童センターの指定管理者(魚津市社会福祉協議会) に委託する方向で協議している。

※児童の分散方法については要検討だが、あくまでも、つばめ第3・第4クラブという発想。

※こぼと児童センターは、平成29年度末(平成30年3月末)で閉館予定であるため、これまでの利用者は、平成30年度は、つばめ児童センターを利用⇒今後、閉館と併せて利用者に周知が必要

※村木小学校は、平成29年度末閉校後、概ね半年間改修工事で建物を使用することができないため、放課後児童クラブの開設は、早くても平成30年10月頃の見込み。年度途中からの開設は、手続きが煩雑である上、利用者も混乱するため、平成31年度開設が望ましいと考えている。⇒今後、大町・村木・本江小の保護者へ周知が必要

(参考) 3校学童利用者

大町：1年3人(通年)、2～6年12人(通年7人・長期3人・一時2人)

村木：1年1人(一時)、2～6年8人(通年6人・長期2人)

本江：1年38人(通年35人・長期3人)、2～3年61人(通年48人・長期9人・一時4人)

②上野方小の児童は、スクールバスを利用し、上野方公民館において実施予定。

※本来徒歩圏内地域であるため、学童を利用しない児童との不公平感等が予想され、保護者への説明が必要。また、学童希望者数によっては、スクールバスに乗れない場合も想定される。さらに、将来的に4校すべての児童をつばめ児童センター・村木小学校で受け入れることとなり、供給体制に不足が生じる場合、本江公民館建替えにあわせた学童整備等も検討すべき

(3) 住吉・上中島・松倉小学校

統合校内に専用室を創設予定であるが、保護者及び地域のニーズや支援員の確保状況等を総合的に判断する。統合校内において3校分の受入れは可能。放課後子ども教室との一体的運営も検討すべき。

⇒地域での利用希望が多ければ、公民館において実施(H29年度中にアンケート実施予定)

(4) 道下・経田小学校

①すずめ児童センターの供給体制に不足が生じる場合は、実施場所(別の部屋)の追加又は校内にある小学校地域交流室(101 m²：61人受入れ可)の活用を検討。併せて、放課後子ども教室との一体的運営も検討すべき。

⇒EX. 工作室：46.37 m² (28人)

②かもめ児童センターの供給体制に不足が生じる場合は、実施場所(別の部屋)を追加又は経田小学校内の余裕教室の活用を検討。

⇒EX. 図書室：36.33 m²、22人 工作室：36.45 m²、22人、読書コーナー：48.10 m²、29人

